

# 福祉学習プログラム

平成28年3月

島根県社会福祉協議会

島根県福祉教育推進協議会

人・そだて 人・ともに 人・くらす わが<sup>ま</sup>島根<sup>ち</sup>づくり

- 今回策定した「しまね流ふくし教育推進指針」では、地域を基盤に県民一人ひとりのライフステージや生活場面等に応じた「福祉の学び合い」と地域の福祉サービス支える将来の担い手養成につなげていくことを事業推進のねらいに位置付けました。さらに、各地域において市町村社協が中心となって福祉教育事業・活動を企画・実践展開していくための具体的な「福祉学習プログラム」について整理・提示を行っています。
- ライフステージを幼児・小学生・中学生・高校生等・大人と区分しています。そして「社会的包摂」の視点に立ち、学校教育・社会教育・職場・社会福祉施設・当事者団体等と連携し、「福祉の学び合い」を推進するプログラムを掲載しています。
- プログラム内容は、ライフステージ別に学ぶものもあれば、様々な世代が一緒になって取り組むものなど多様な実施方法があります。活用される場面に応じて工夫して使ってください。
- 今後、本プログラムを活用しながら新たなプログラムを追加していく予定です。色々な取り組みをご提案いただきますようお願いします。

※

- ・表“ライフステージにおける「福祉学習プログラム」概要”は、縦軸に「福祉の心の醸成」について深化・到達目標を、横軸にライフステージをおき、各プログラムのテーマを該当の箇所に記入しています。
- ・“ライフステージにおける「福祉学習プログラム」”の中で詳細プログラムがあるものは、右端欄に該当ページ番号を記入しています。